

大阪大学大学院理学研究科高分子科学専攻
インテグレート大学院理学教育 学会発表報告書

平成 20 年 3 月 31 日

大阪大学理学研究科高分子科学専攻博士後期過程 2 年

岡本 健太郎

学会名：日本化学会第 88 春季年会

学会先：立教大学 池袋キャンパス、立教池袋中学校・高等学校

学会参加日：平成 20 年 3 月 27 日(木)～29 日(土)

成果報告： 日本化学会の第 88 回春季年次会に参加し、「光異性化反応追跡を目的とした新規 PYP 発色団モデル化合物の合成と評価」というタイトルで、これまで行ってきたモデル化合物の研究を発展させ生体反応のイメージングを目指した研究の途中過程の成果を発表してきた。発表でのディスカッションだけでなく、自らの研究において参考になる発表、講演などを傍聴することができ、新たな知見を深めるとともに自らの研究を進める上での重要な示唆、指針を得ることができた。